

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	1
------	---

1. 事業の概要

実施計画事業名	防災意識の高揚や地域における防災力の向上	担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	市民の防災意識の更なる高揚による地域防災力の向上を目的に、自助・共助の重要性を広めるとともに、防災メール発信システムの利用促進や家庭内備蓄（自助備蓄）・地域での備蓄（共助備蓄）の普及啓発を行います。 また、自主防災組織の結成促進や活動を側面から支援するとともに、市民、地域、行政など関係機関が連携した地域防災体制の構築に向けた取組を推進します。		
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防組織法 消防法
取組方針	防災意識の高揚や地域における 防災力の向上（自助・共助）		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  11 持続可能な都市を築く  13 気候変動に具体的な対策を  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容（第4次実施計画）

単位：千円

	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
年度別の実施内容 （具体的な内容及び数量）	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施 ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織活動等の助成（新たに資機材更新費用助成を開始） ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施 ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織活動等の助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施 ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織活動等の助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発
事業費	18,602千円	18,602千円	18,602千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名（大事業予算）
	8-1-5	災害対策費	防災意識啓発事業
	8-1-5	災害対策費	自主防災組織助成事業
	8-1-5	災害対策費	災害対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位：円

令和6年度の 事業実績・成果	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布実施 ・総合防災訓練の実施（木刈中学校区、会場：木刈中学校） ・広報等による自助・共助等普及啓発の実施 ・防災ポータルサイトの運用 ・自主防災組織への設置助成及び活動助成の実施 ・自主防災組織リーダー研修会・防災講座（出前講座）の実施 ・防災講習会の実施 ・マイタイムラインの普及啓発	当初予算	18,602,000円
		予算現額	30,602,000円
		決算額	27,207,755円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	防災情報の広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	10	10
			実績値	8	10	7	12	
	総合防災訓練の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
	自主防災組織結成に向けた広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	7	9	
			目標値					
			実績値					
成果指標	防災メール等の登録者数	人	目標値	15,000	17,000	19,000	23,000	24,000
			実績値	15,171	21,162	24,324	25,296	
	総合防災訓練自治会等参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	50	47	89	93	
	自主防災組織活動カバー率（自主防加入世帯/市の世帯）	%	目標値	80	81	82	83	84
			実績値	78	78	80	82	
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考（評価結果へのコメント又は項目についての課題）
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
災害における被害を軽減するには、防災に対する各種対策等の普及啓発が重要であるため、引き続き実施していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号2

1. 事業の概要

実施計画事業名	防災・減災基盤の充実		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	災害に強い防災・減災基盤の整備を目的に、災害時、いかなる状況下においても市民に迅速かつ的確に情報を伝達するため、防災行政無線以外の情報伝達手段の多様化を推進し、将来的に更新が必要となる子局等の更新計画の策定に取り組みます。 また、避難所においては、感染症に配慮した資機材の整備、停電対策としての非常用電源の確保、災害用トイレの多様化や暑さ対策など、避難所における生活環境の改善と衛生管理を推進し、公助備蓄に対応するための防災備蓄拠点の整備に取り組むとともに、災害時における飲料水及び生活用水を確保するための災害用井戸の整備を計画的に実施し、併せて、災害時協力井戸制度の普及・啓発に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画	
取組方針	防災・減災基盤の充実（公助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1貧困をなくそう  11住み続けられるまちづくりを  13気候変動に具体的な対策を  17パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容（第4次実施計画）

単位：千円

	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
年度別の事業計画 （具体的な内容 及び数量）	・災害用井戸整備（本埜中学校） ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ（指定避難所）設計・設置（各2箇所） ・災害用資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理	・災害用井戸の設置検討 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ（指定避難所）設置（2箇所） ・災害用資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理	・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理
事業費	109,192千円	79,922千円	79,922千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名（大事業予算）
	8-1-5	災害対策費	防災施設管理に要する経費
	8-1-5	災害対策費	災害応急対策資機材整備事業
	8-1-5	災害対策費	災害用井戸整備事業

3. 事業実績等

単位：円

令和6年度の 事業実績・成果	・災害用井戸整備（本埜中学校）実施 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ（指定避難所）設計（印旛中学校・滝野中学校）及び設置工事（小林中学校、高花小学校） ・災害用備蓄食料・資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の状況に応じた交換等を実施	当初予算	109,192,000円
		予算現額	83,100,000円
		決算額	79,401,584円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	災害用井戸の設置数	箇所	目標値	6	7	8	9	-
			実績値	6	7	8	9	
	マンホールトイレの設置数	箇所	目標値	-	2	4	6	8
			実績値	-	2	4	6	
	災害時協力井戸制度の普及・啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1	8	8	9	
			目標値					
			実績値					
成果指標	災害用井戸の設置率（全9箇所）	%	目標値	66	77	88	100	-
			実績値	66	77	88	100	
	マンホールトイレの設置率（全8箇所）	%	目標値	-	25	50	75	100
			実績値	-	25	50	75	
	災害時協力井戸の登録者数	人	目標値	20	30	40	50	60
			実績値	9	13	16	21	
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考（評価結果へのコメント又は項目についての課題）
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・大規模災害時には、物流、流通機能等が停止することから、引き続き計画的に非常食の備蓄に努める。また、避難所においては災害用マンホールトイレを設置するとともに、資機材等を整備する。なお、災害用井戸設置については計画通り実施することができた。 ・引き続き、多様化した災害情報伝達手段及び災害時協力井戸の周知啓発に努める。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号 3

1. 事業の概要

実施計画事業名	消防体制の拡充		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	消防体制の拡充を目的に、近年、複雑・多様化するあらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守り、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、市、常備消防、消防団の連携を更に強化することで、災害対応力の向上を図ります。 また、消防団がより安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防水利などを計画的に整備するとともに、機能別消防団員制度の普及、啓発を図ることで、地域防災の中核的な存在である消防団員の確保に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防法 消防組織法	
取組方針	消防・救急体制の維持・拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 1 貧困をなくそう  11 包摂的で安全かつ強靱な都市を築こう  13 気候変動に具体的な対策を  17 パートナリーシップで目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(2棟)、新築・解体設計業務(1棟) ・防火水槽設置工事(1基)、設計業務(1基) ・消防団車両の更新(2台)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(1棟)、新築・解体設計業務(1棟) ・防火水槽設置工事(1基)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(1棟)、新築・解体設計業務(1棟)
事業費	273,903千円	187,829千円	171,351千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	8-1-2	非常備消防費	消防団運営活動に要する経費
	8-1-2	非常備消防費	消防団車両管理に要する経費
	8-1-3	災害対策費	消防施設維持管理に要する経費
	8-1-3	災害対策費	防火水槽整備事業
	8-1-3	災害対策費	消防団配備車両整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入(ホース、ガントイプ管槍など) ・消防団器具庫4-12(中の口)新築工事及び14-8(将監)新築・解体工事 ・消防団器具庫1-1(木下)新築・解体設計 ・防火水槽(松崎)設置工事(1基) ・防火水槽(中根)設置設計(1基) ・消防団車両の更新(2台)	当初予算	273,903,000円
		予算現額	249,859,000円
		決算額	211,367,955円
		翌年度繰越額	10,678,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	消防団員の確保に向けた啓発活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	15	15	
	消防団器具庫の更新数	棟	目標値	-	1	3	5	7
			実績値	-	1	2	4	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	消防団員の充足率	%	目標値	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0
			実績値	77.1	75.5	73.7	69.2	
成果指標	消防団器具庫の更新率(全14棟)	%	目標値	-	7	21	35	50
			実績値	-	7	14	29	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も消防団員が安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防団器具庫及び消防水利などを計画的に整備していく。 また、消防団員数については、現在も減少傾向にあるため、国県の動向等を踏まえ更なる処遇改善等の検討を進めるとともに、啓発等を実施し団員確保に努めていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	4
実施計画事業名	防犯対策の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、市民、各種団体、関係機関及び行政が協力・連携し、犯罪の抑止に向けた取組を推進します。 また、近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や新たな犯罪に市民が巻き込まれないよう、情報提供や犯罪被害者等の相談に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市安全で安心なまちづくり推進 条例及び同条例施行規則 印西市暴力団排除条例 印西市犯罪被害者等支援条例及び 同条例施行規則	
取組方針	防犯対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 持続可能な 開発目標 16 平和と公正を すべての人に 17 パートナーシップで 目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与 ・市民安全センター移転準備	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与
事業費	96,060千円	78,406千円	78,406千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-13	諸費	防犯対策に要する経費
	2-1-13	諸費	防犯活動拠点施設運営費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・市内犯罪発生状況を市HPに掲載(月2回) ・市内犯罪発生状況を登録者にE-mailやFAXで配信(月2回) ・地区別字別犯罪発生状況を市HPに掲載(毎月) ・警察と連携した合同パトロール(毎月) ・青色回転灯装着車両によるパトロール業務(287日) ・防犯灯の新設(51台)と維持管理 ・街頭での防犯啓発活動の実施(10回) ・街頭防犯カメラの管理及び運用(駅ロータリー49台) ・自主防犯活動組織への補助金交付 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助事業の補助金交付(6台) ・電話de詐欺対策機器貸与(30台) ・市民安全センターをコスモスパレットパレットⅡへ移転	当初予算	96,060,000円
		予算現額	93,294,000円
		決算額	90,570,137円
		翌年度繰越額	298,650円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地域安全パトロールの実施(青色灯搭載車による)	日	目標値	260	260	260	260	260
			実績値	286	285	285	287	
	新設防犯灯数	灯	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	89	66	61	51	
	市民安全情報の配信	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	
	防犯パトロール回数	回	目標値	940	940	940	940	940
			実績値	771	606	666	686	
成果指標	市民安全パトロール隊の隊数	隊	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13	10	10	13	
	印西市内での刑法犯認知件数(暦年)	件	目標値	560	550	540	530	520
			実績値	513	581	648	680	
	印西市内での刑法犯(窃盗犯)認知件数(暦年)	件	目標値	430	420	410	400	390
			実績値	427	461	506	556	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	防犯パトロール回数は目標値を下回っているが、地域安全パトロールについては目標値を上回る日数で実施。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	市内での刑法犯認知件数及び刑法犯(窃盗)認知件数が目標値を上回ってしまった。犯罪発生情報を防犯組合と共有し、また警察と連携を図りパトロールや啓発活動に努める。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	犯罪発生情報を周知し、警察と連携を図りパトロールや啓発活動に努め、更なる防犯対策意識の醸成を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市や防犯組合等による防犯活動のほか、犯罪被害者等の救済のための見舞金制度や、町内会・自治会等による防犯カメラ設置に対する補助に加え、令和7年度からは家庭用防犯カメラの購入費助成を実施し、防犯意識の高揚と安全で安心なまちづくりの推進に引き続き努める。また、犯罪等の抑止活動について関連団体・機関と連携し強化を図る。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	5
実施計画事業名	交通安全対策の推進		担当部署名	市民活動推進課 土木管理課
事業の実施目的 及び概要	交通安全意識を高める取組と合わせて交通安全施設等の整備を進め、特に交通弱者と呼ばれる高齢者や児童等への交通安全対策を図り、交通事故の防止に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市自転車の安全・安心利用に 関する条例 印西市自転車安全総合推進計画 印西市交通安全計画	
取組方針	交通安全対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	【交通安全教室・スケアードストレイト】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・キャッシュレス決済対応券売機設置	【交通安全教室・スケアードストレイト】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【関係計画作成】 ・第12次印西市交通安全計画策定 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・防犯カメラ更新	【交通安全教室・スケアードストレイト】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・防犯カメラ更新
事業費	58,253千円	57,300千円	57,300千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	自転車駐車場管理運営に要する経費
	2-1-8	交通安全対策費	放置自転車等対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・幼稚園、保育園、小中学校、高齢者クラブを対象とした交通安全教室及び各交通安全運動期間等の街頭啓発や児童登校時の見守り活動を実施した。 ・年間を通じ、交通安全パトロールを実施した。 ・自転車乗車用ヘルメット着用促進に関する啓発チラシを町内会等へ回覧した。 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 ・キャッシュレス決済対応券売機設置 ・自転車乗車用ヘルメット購入費助成金の申請(令和6年6月より)に関し、チラシや広報等で周知に努めた。 ・交通安全施設工事の実施 (区画線 L=49.407m／道路反射鏡 N=26基／標識 N=11基／車止め N=21基／車両用防護柵 L=10m)	当初予算	58,253,000円
		予算現額	112,253,000円
		決算額	106,956,756円
		翌年度 繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施回数	回	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	6	60	71	72	
	街頭啓発活動	回	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	13	15	18	23	
	放置自転車の巡視・警告・撤去	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	240	243	208	
	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243	243	
成果指標	印西市内での交通人身事故発生件数	件	目標値	204	199	195	192	190
			実績値	179	218	233	240	
	放置自転車の撤去台数	台	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	55	63	89	78	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	成果指標である市内での交通人身事故発生件数及び放置自転車の撤去台数ともに目標値を上回ってしまった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	交通安全対策及び放置自転車対策に関する活動は計画通り実施ができたものの、交通人身事故発生件数や放置自転車の撤去台数は増加傾向となっており、増加の要因については、市外からの転入者数の増加や大型商業施設等への来街者が増えた影響が一因と思われる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、交通安全教室や啓発活動を通じ、交通安全意識の高揚を図る。また、放置自転車対策として駅周辺を中心に、表示物の見直しや効果的な啓発、周知方法等を検討し改善に努める。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	6
実施計画事業名	消費者被害の防止		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や契約に関するトラブルに巻き込まれないよう、情報提供や相談体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-2】防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例及び同条例施行規則	
取組方針	消費者被害の防止			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  16 平和と公正を すべての人に  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実
事業費	11,905千円	11,905千円	11,905千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	6-1-3	消費者行政推進費	消費者行政推進事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・消費者トラブルを未然に防止するため、相談の多い事例や対処方法の紹介や、その時々消費生活に関するお知らせを広報紙で周知を行った。 ・消費者教育に関する啓発物資を作成し、市民への意識啓発及び情報提供を行った。 ・消費生活上の問題に関する相談に消費生活センターの相談員が応じ、必要な助言・指導を行った。 ・消費生活相談員の報酬を改定するほか、各種研修への参加や弁護士による勉強会を開催し、相談員の処遇改善や能力向上を図った。	当初予算	11,905,000円
		予算現額	12,518,000円
		決算額	10,989,337円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙への啓発記事掲載回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	
	消費生活講座等開催回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	4	5	5	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	新規相談件数	件	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	605	612	671	672	
成果指標	消費生活講座の受講者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	193	205	60	243	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、消費者被害を防止するため、消費生活相談に関する情報提供や相談、消費生活講座等の充実を図っていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	7
1. 事業の概要				
実施計画事業名	地域福祉の推進と支援体制の構築		担当部署名	社会福祉課
事業の実施目的及び概要	「市民」はまちづくりの主役であり、地域福祉の推進には、市民が主体となった地域活動が不可欠です。「介護」「障がい」「子育て」「困窮」等地域に住む市民たちの抱える問題は複雑化・複合化してきています。また、高齢化の進展や人間関係の希薄化等により、「共助」の重要性がより高まっている中で、縦割り型の支援体制から組織を超えた横断的な支援体制の構築とともに、地域における包括的な支援体制の構築が求められています。 このため、市では、人材確保・育成活躍の場の提供などによる社会参加への支援を行っていきます。また、「市民」「地域活動団体」「社会福祉法人」「NPO法人」「民生委員・児童委員」「行政」といった地域福祉を担う構成員の連携による地域福祉ネットワークの構築を進めるとともに、包括的な相談体制の構築など地域福祉力の向上に向けた支援体制づくりを進めていきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	社会福祉法 印西市地域福祉計画 民生委員法 児童福祉法	
取組方針	市民の福祉意識向上と人材確保・育成/ 包括的な支援の実現に向けた体制づくり			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  10 人や国を超えて公正で包摂的な社会を築く  11 安全で持続可能な住環境を築く  16 平和と公正な社会を築く  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・民生委員協力員制度の導入 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・第5次印西市地域福祉計画策定(策定委員会設置) ・第5次印西市地域福祉計画策定に係る市民アンケートの実施 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター及び牧の原地域交流センター) ・そうふけふれあいの里大規模改修工事 ・重層的支援体制づくりの検討	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設への福祉の総合相談窓口の設置 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・第5次印西市地域福祉計画策定 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制づくりの検討	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第5次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制づくりの推進
事業費	905,492千円	97,391千円	97,391千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	そうふけふれあいの里施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	牧の原地域交流センター施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	民生委員児童委員活動に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・広報紙・ホームページに、民生委員・児童委員の活動紹介等の地域福祉に関する記事を掲載し、市民の福祉意識の向上を図った。 ・社会福祉協議会等との連携や民生委員・児童委員の活動支援を行い、地域福祉の向上に努めた。 ・福祉の総合相談窓口において、どこに相談したらよいかわからない方(窓口・電話)への案内及び情報提供を行った。 ・第4次印西市地域福祉計画の進行管理を行うとともに、第5次地域福祉計画策定に向けた体制を整え、アンケート調査を実施した。 ・地域福祉センター及び牧の原地域交流センターでの貸館の実施により、福祉団体等に活動の場を提供し、福祉活動の推進を図った。 ・そうふけふれあいの里大規模改修工事が完了した。 ・重層的支援体制整備事業の実施に向けて検討を行うとともに、研修やワークショップをとおして制度の理解に努めた。	当初予算	905,492,000円
		予算現額	1,144,892,500円
		決算額	848,618,969円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	民生委員・児童委員数	人	目標値	130	135	140	145	150
			実績値	129	112	128	130	
	地域福祉の情報発信数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	7	7	
	福祉の総合相談窓口	か所	目標値	1	1	1	1	2
			実績値	1	1	1	1	
			目標値					
			実績値					
成果指標	民生委員・児童委員の活動数(活動日誌)	件	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	5,835	6,742	9,716	9,849	
	ボランティアセンター登録者数	人	目標値	1,400	1,550	1,700	1,850	2,000
			実績値	959	856	906	1,271	
	総合相談窓口相談件数	件	目標値	50	70	80	250	300
			実績値	197	203	199	169	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	総合相談窓口について、実施内容等の検討を進めて、令和7年度実施につなげた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	総合相談窓口は、目標相談件数の67.6%にとどまったため、令和7年度から実施場所を増やすことで、相談体制の充実を図る必要がある。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	令和7年度から、コスモスパレットに総合相談窓口を一か所増やし、複雑化・複合化した課題を抱えた人の相談支援体制の強化を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の関係機関との連携を図るとともに、包括的な支援体制を構築するための重層的支援体制づくりの検討を進める。総合相談窓口を令和7年度からコスモスパレット内に追加で設置することで、相談体制の充実を図る。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	8
実施計画事業名	多様化・複合化する地域福祉課題への対応	担当部署名	社会福祉課	
事業の実施目的 及び概要	近年、大規模な自然災害の発生や新手の特殊詐欺・サイバー犯罪の増加、新型コロナウイルス感染症の流行等、市民の安全を脅かす要因が増加する中、特に、高齢者や障がい者等の支援が必要な人を地域ぐるみで守っていけるよう、地域人材を活用した防災・防犯体制を構築・推進していくとともに、市民の生活面に重大な影響を及ぼすことになりうる「生活困窮」「自殺」「ひきこもり」「8050問題」「ダブルケア」などの地域福祉が抱える様々な問題への対策についても取り組んでいきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市避難行動要支援者避難計画 生活困窮者自立支援法 生活保護法 印西市地域福祉計画 印西市成年後見制度利用促進基本計画	
取組方針	多様化・複合化する課題への対応			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  10 人や国の平等を促進しよう  11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施
事業費	140,407千円	140,407千円	140,407千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会総務費	社会福祉推進事業
	3-1-1	社会総務費	生活困窮者自立支援事業に要する経費
	3-4-1	生活保護総務費	生活保護事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・避難行動要支援者同意者名簿作成のため、避難行動要支援対象者に個別に通知を発送し、同意者名簿に掲載してよいか、また、支援者となり得る関係団体(町内会や民生委員等)に名簿を提供してよいか確認するため同意書の提出をしてもらった。また、システムにおいて名簿等の管理を行い、有事に迅速に対応・活用できるようにした。 ・生活困窮者自立支援事業について、毎月1日号の広報に生活困窮相談を行っている旨を掲載(「今月の各種相談」コーナー)する他、ホームページにも生活困窮者に対する支援制度などの情報掲載を行った。また、委託先事業所でもチラシを作成し、周知に努めた。 ・住居確保給付金を7世帯に給付した。 ・被保護者就労支援事業においては、被保護者本人・就労支援員・担当ケースワーカーによる三者面談や「被保護者就労支援会議」を開催し、就労支援の方向性などを検討した。	当初予算	140,407,000円
		予算現額	184,661,000円
		決算額	179,522,328円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	避難行動要支援者同意者数	人	目標値	2,100	2,500	2,700	2,900	3,100
			実績値	2,399	2,686	2,412	2,609	
	自立支援事業の広報等による周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	
	被保護者就労支援事業利用者数	人	目標値	15	15	20	20	25
			実績値	20	10	21	18	
	成年後見支援センターの広報等による周知	回	目標値	-	-	-	3	3
			実績値	-	-	-	4	
			目標値					
			実績値					
成果指標	避難行動要支援者個別計画作成件数	件	目標値	50	125	216	232	248
			実績値	103	157	216	235	
	自立相談事業による相談件数	人	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	267	188	207	133	
	被保護者就労支援事業を利用し増収した者	人	目標値	5	7	10	10	15
			実績値	9	9	6	2	
	成年後見支援センター相談件数	人	目標値	-	-	-	30	35
			実績値	-	-	-	47	
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	避難行動要支援者避難計画、生活困窮者自立支援制度、成年後見制度の周知に努め、利用者等の増加を図っていく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	自立相談事業相談件数及び被保護者就労支援事業を利用し増収した者の減少があったが、今後も関係機関等と連携し支援を継続していく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	自立相談事業による相談件数が減少傾向にあるが、以前はコロナを理由とした困窮相談件数が多かったため。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も市民が安心して生活できるよう、関係機関や地域の団体と連携し、継続して各事業を実施していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	9
実施計画事業名	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	高齢者の多様な交流の促進を図り、いつまでも元気で住み慣れた地域に住み続けられるよう、老人福祉センター等の施設を提供及び各種事業を実施するほか、高齢者クラブが高齢者の生きがいづくりや孤立化防止に資するような自主的活動団体となるよう支援します。 また、高齢者が長年培ってきた経験・知識・技能を発揮し、生きがいを持って社会に参加しつつ生活の安定も享受できるよう、臨時的・短期的な就業を提供するシルバー人材センターの運営を支援します。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 老人福祉法 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・総合福祉センターの保全改修工事の設計の実施	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・総合福祉センターの保全改修工事の設計の実施	・老人福祉センター2館(高花・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・総合福祉センターの保全改修工事の実施
事業費	185,046千円	194,246千円	685,046千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者生きがい事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者就労支援センター運営に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	総合福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター運営事務に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	高花老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	そうふけ老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	中央駅前地域交流館高齢者福祉事業活動に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	老人福祉センター等では、高齢者の生きがいづくりや健康の維持、教養の向上などを目的に、主催事業を223日開催した。また、自由来館の場を設け、高齢者同士の交流を図るとともに、サークルなどを通じて生きがいづくりの推進を図り、老人福祉センター等5施設で延べ46,469人の方に利用された。 高齢者クラブの活動は、高齢者の生きがいづくりや体の健康の維持、社会参加促進を目的としており、新型コロナウイルス感染症の影響下にあった時期と比較して、社会奉仕活動やサークル活動が復調の兆しにある。 シルバー人材センターの入会説明会参加者に対しては、高齢者就労支援センターの紹介や就業情報の提供を目的として、「ハローワーク成田」等の案内を行った。 高齢者就労支援センターでは、高齢者の就労を支援するための講座・講習会を53回開催し、延べ利用人数は1,374人であった。 総合福祉センターの保全改修工事の設計を実施し、順調に進捗している。	当初予算	185,046,000円
		予算現額	180,293,000円
		決算額	175,093,015円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	老人福祉センター等施設の主催事業開催日数	日	目標値	170	170	200	200	200
			実績値	183	167	224	223	
	シルバー人材センター登録会員数	人	目標値	450	455	460	500	520
			実績値	404	447	449	450	
	就業支援講座・講習会の開催数	回	目標値	5	5	5	48	48
			実績値	3	7	26	53	
			目標値					
			実績値					
成果指標	老人福祉センター等施設の延べ利用者数	人	目標値	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000
			実績値	27,222	30,617	51,361	46,469	
	シルバー人材センター受注事業件数	件	目標値	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500
			実績値	2,260	2,469	2,428	2,536	
	シルバー人材センター就業延べ人員	人	目標値	50,000	50,100	50,200	50,300	50,400
			実績値	46,842	48,458	44,965	45,475	
	高齢者クラブ登録会員数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	1,500	1,500
			実績値	1,812	1,625	1,482	1,380	
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	就労支援センターの就業支援講座をはじめ全体的に目標値を達成することができたが、シルバー人材センターの登録会員数については、直近において横ばいであるためより支援に努め会員数の増加を図りたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	シルバー人材センターの会員数は横ばいであったが、受注事業件数及び就業延べ人員数は昨年と比べ良好であるため、引き続き目標値の達成を目指していきたい。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	全体的に目標値どおりの結果であったが、目標値の達成ができていないものもあるため、今後も目標値以上の結果になるよう努めたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
老人福祉センターや就労支援センターについては、引き続き利用者の増加に努める。就労支援センターの機能強化を図り、就労支援講座・講習会の開催数を増やす予定である。 シルバー人材センターや高齢者クラブ連合会などの運営についても、目標値の達成を目指し継続して支援をしていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	10
実施計画事業名	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的及び概要	各種介護予防事業の取組により、要介護状態になることを予防するとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるように支援します。 また、加齢に伴い生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を要する方に対して、自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスの給付を行います。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  3 持続可能な開発目標  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)				単位:千円
	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化	
事業費	6,292,873千円	6,292,873千円	6,292,873千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	介護人材育成事業
	【介護保険特別会計予算】		
	2-1-1 ～ 2-1-6	介護サービス費	施設サービス給付事業、居宅サービス給付事業、地域密着型サービス給付事業、特定入所者介護サービス給付事業、居宅介護支援サービス諸費給付事業、審査支払に要する経費
	2-2-1 ～ 2-2-4	介護予防サービス費	介護予防サービス給付事業、地域密着型介護予防サービス給付事業、介護予防支援サービス諸費給付事業、特定入所者介護予防サービス給付事業
	3-1-2	介護予防・日常生活支援総合事業費	介護予防・日常生活支援総合事業

3. 事業実績等				単位:円
令和6年度の 事業実績・成果	介護予防の推進については、介護予防把握事業において介護認定を受けていない75歳以上10,410人に健やかチェックアンケートを送付し、5,626人の回答(回答率54.0%)あり。その結果、フレイルのリスクの高い3,085人に対しフレイル予防に関して普及・啓発を行うとともに、介護予防教室に計38名が参加した。介護認定を受けていない65歳以上の人を対象とした介護予防教室では、計55名が参加し、その後、いんざい健康ちょきん運動へ参加する人等もあり、社会参加等フレイル予防を促すことができた。いんざい健康ちょきん運動では、周知に努め、新規に立ち上がるグループが増える等予定どおりに実施できた。認知症予防として、出前講座の実施、脳活パンフレットの作成・配布などを行った。通所型サービスCでは、地域包括支援センターから利用につながるケースが増えた。 特定施設入居者生活介護(定員70名)1施設の整備事業者を公募し、事業者を選定した。	当初予算	6,292,873,000円	
		予算現額	6,291,826,000円	
		決算額	5,968,633,287円	
		翌年度繰越額	-	

4. 指標及び実績値		指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ちょきん運動出前講座		回	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	2	5	7	3	
	介護予防事業の周知活動(介護保険証に同封、窓口設置モニター掲載、HP・広報掲載等)		回	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	19	28	24	33	
	介護支援ボランティアの登録人数		人	目標値	100	110	120	55	60
				実績値	48	43	54	57	
成果指標	介護職員初任者研修等費用助成		人	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	3	4	6	3	
	ちょきん運動参加者人数		人	目標値	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
				実績値	1,059	1,307	1,412	1,445	
	ちょきん運動実施グループ数		グループ	目標値	75	79	83	87	91
				実績値	72	75	83	86	
成果指標	介護支援ボランティアの受入施設		事業所	目標値	26	27	28	29	30
				実績値	26	34	34	36	
	研修費用助成による市内介護保険サービス事業所への就業者数		人	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	3	4	6	3	
				目標値					
				実績値					

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ちょきん運動のグループ立ち上げ支援、フレイルのリスクの高い人にその予防について普及啓発など実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ちょきん運動のグループが増え、フレイルのリスクの高い人にその予防について普及啓発を行いつつ、社会参加等つながることができ、介護予防事業は予定どおり実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ちょきん運動の活動支援や介護予防把握事業から介護予防事業への展開を行うことができた。

6. 今後の方向性	
今後の方向性や課題等	
介護予防の推進については、介護予防把握事業から介護予防事業へつながる展開がみられているため、引き続き実施していく。	

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	11
実施計画事業名	地域包括ケアシステムの推進		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的及び概要	高齢者ができるだけ要支援・要介護状態にならず、住み慣れた地域で安心して暮らし、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護予防と生活支援の観点から、地域の多様な社会資源を本人が活用できるような地域包括ケアの実現のために、地域包括ケアシステムの深化・推進及び各種生活支援サービスを実施します。また、その中核となる地域包括支援センターの運営を継続し深化させていきます。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	地域包括ケアシステムの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  3 健康と長寿を促そう  11 住み続けたいまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・地域包括支援センター(5か所)の運営 ・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業	・地域包括支援センター(5か所)の運営 ・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業	・地域包括支援センター(5か所)の運営 ・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業
事業費	275,372千円	275,372千円	275,372千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者在宅福祉事業
	【介護保険特別会計予算】		
	3-1-1	包括的支援事業・任意事業費	包括的支援事業・任意事業
	4-1-1	保健福祉事業費	保健福祉事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	地域包括支援センターの機能充実を図るため、各圏域の高齢者人口等を勘案し印西南部地域包括支援センターの人員を1名増とした。在宅医療・介護連携の推進のため、多職種が集まる研修と交流の場を2回設け、介護事業所のほか、薬局、訪問看護などの医療関係者、警察、消防など、各会70名(計140名)が参加し、顔の見える関係づくりを支援した。認知症サポーター養成講座については、小学校で18校中17校で開催することができた。一般企業への受講を促すため、開催を呼びかける通知を行い、高齢者福祉課や地域包括支援センターで講座を開催することができた。一般市民や市職員を合わせ、311人のサポーターを養成することができた。	当初予算	275,372,000円
		予算現額	276,776,000円
		決算額	236,701,573円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	認知症サポーター養成講座の開催	回	目標値	28	28	28	28	28
			実績値	21	30	28	33	
	外出支援サービス利用実績	件	目標値	400	400	400	600	600
			実績値	342	484	426	334	
	緊急通報装置の設置実績	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	41	34	53	50	
			目標値					
			実績値					
成果指標	総合相談支援利用者数	件	目標値	4,000	4,100	4,200	7,300	7,400
			実績値	5,865	7,296	5,903	5,954	
	認知症サポーター養成数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,033	1,565	1,316	1,457	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	認知症サポーター養成講座はほぼ目標通りの回数で開催できた
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	総合相談数は少しずつ増えており、相談機関の存在の周知が進んでいる。認知症サポーター数を着実に増やすことができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	総合相談数は少しずつ増えており、相談機関の存在の周知が進んでいる。認知症サポーター数を着実に増やすことができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
目標通りの成果が得られており、現行のまま継続するが、高齢者の相談機関である地域包括支援センターの役割や対応力の向上、認知症に対する理解を深化するためのサポーター養成について更なる周知を図っていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	12
実施計画事業名	障がいのある人の地域生活支援の充実		担当部署名	障がい福祉課
事業の実施目的及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図ることを目的とし、障がいのある人が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 児童福祉法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画 印西市障害児福祉計画	
取組方針	障がいのある人の地域生活支援の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  3 すべての人に健康と福祉を  8 働きがいも、経済成長も  10 人や国の不平等をなくそう  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成
事業費	3,238,130千円	3,335,318千円	3,435,466千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会福祉総務費	特定疾患見舞金支給事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者在宅福祉事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者援護費
	3-1-2	障害福祉費	難聴児補聴器購入費助成金交付事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付を行った。 ・基幹相談支援センターを設置し、24時間365日の一般相談及び、特定相談支援事業所による障害福祉サービス等の利用支援を行った。(一般相談支援25,744件、計画相談支援1,841件) ・グループホーム運営費の補助及び入居する障がいのある人への家賃の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と日常生活の確保を図った。(グループホーム等運営費補助金21事業者、グループホーム等入居者家賃助成136人) ・重度心身障害者の医療費を助成することにより、障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図った。(支払件数38,100件) ・特定疾患等による療養者又はその保護者に特定疾患見舞金を支給することにより、生活の安定と福祉の増進を図った。(支給件数734件) ・重度心身障害者等に福祉手当を支給することにより、障がいゆえに生じる負担の軽減と福祉の増進を図った。(支給件数2,128件) ・軽度・中等度難聴児に補聴器購入費を助成することにより、難聴児の健全な言語及び社会性の発達を支援し、福祉の増進を図った。(支給件数3件)	当初予算	3,238,130,000円
		予算現額	3,462,972,000円
		決算額	3,359,480,844円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	障害支援区分認定調査人数	人	目標値	110	116	150	160	170
			実績値	183	152	201	204	
	一般・特定相談事業所数	所	目標値	7	7	7	8	8
			実績値	7	7	9	9	
	障害福祉サービス(共同生活援助)利用決定者数	件	目標値	110	115	120	159	164
			実績値	137	149	175	197	
			目標値					
			実績値					
成果指標	障害福祉サービス利用者数(就労系及び共同生活援助を除く。)	人	目標値	999	1,042	1,085	877	924
			実績値	925	1,012	1,079	1,267	
	相談支援件数	件	目標値	19,500	19,700	23,000	30,000	30,500
			実績値	22,563	25,473	27,136	25,744	
	グループホーム等への入居者数	人	目標値	95	100	105	130	140
			実績値	125	132	161	181	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	相談事業の充実を図ったことにより、福祉サービスの利用増加へつなぐことができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	障がいのある人の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスを提供することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	障がいのある人の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスを提供することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
障害のある人が個々の有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援を行っていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	13
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	障がいのある人の社会参加の促進		担当部署名	障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や障がいのある人の状況に応じて、効率的・効果的な事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画 印西市障害児福祉計画	
取組方針	障がいのある人の社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  3 すべての人に健康と福祉を  8 働きがいも、経済成長も  10 人や国を超えて公正で包摂的な社会を  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発
事業費	2,948,292千円	3,007,257千円	3,067,402千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-2	障害福祉費	障害福祉事業に要する経費
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援を行った。 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発を行った。(精神障がい者理解促進講座(3回)、障害者差別解消講演会(1回)、手話講習会(9回)、こころの整理術(1回)、障がい者作品展(1回)、お仕事応援フェア(1回)、小中学校に対し、障害者差別解消チラシのデータ配信依頼(1回))	当初予算	2,948,292,000円
		予算現額	3,173,134,000円
		決算額	3,118,511,817円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労系障害福祉サービス利用決定者数	人	目標値	250	285	306	278	296
			実績値	214	253	285	318	
	差別の解消や理解促進に関する周知・啓発回数	回	目標値	8	8	9	12	13
			実績値	11	12	13	17	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労選択支援事業利用者数	人	目標値	-	-	-	-	5
			実績値	-	-	-	-	
	就労移行支援事業利用者数	人	目標値	65	70	75	55	60
			実績値	73	79	74	61	
	就労継続支援事業利用者数	人	目標値	130	138	146	145	160
			実績値	137	170	191	230	
	就労定着支援事業利用者数	人	目標値	18	21	24	13	14
			実績値	16	18	16	26	
	生活訓練事業利用者数	人	目標値	34	39	44	29	31
			実績値	37	41	49	52	
	差別の解消や理解促進に関する講習等への参加延人数	人	目標値	330	340	370	500	550
			実績値	360	509	531	614	

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	就労系障害者福祉サービス利用決定者は目標値を上回るものが多く、昨年度と比較して増加している。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	障がいのある人の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供につながった。
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	障がいのある人の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供につながった。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
障がいのある人の個々の心身の状況やニーズに応じた福祉サービスの充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的・経済的な自立を支援していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	14
実施計画事業名	健康診査及び保健指導の充実		担当部署名	健康増進課 国保年金課
事業の実施目的 及び概要	高齡化などを要因として全国的に医療費の増加が課題となっており、国民健康保険における医療費の抑制に向け、健康診査の受診率向上などの取組が求められています。本市では糖尿病を中心に、生活習慣病が増加しているため、継続的な運動や食生活の改善をはじめとする健康づくりや、健診などで病気を早期に発見することが求められます。 そこで、健康診査やがん検診等の受診率向上に努め、精密検査の場合には、個別勧奨などにより適切に医療機関へ受診できるよう支援します。加えて個別指導や保健指導などの充実により、市民の健康意識を高め、病気の早期発見や重症化予防など市民の健康増進を支援します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 高齡者の医療の確保に関する法律 国民健康保険法 第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～ 印西市国民健康保険第3期データ ヘルス計画・印西市国民健康保険 第4期特定健康診査等実施計画	
取組方針	健康診査及び保健指導の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 良質な医療を 提供し、 健康を 支えること  3 すべての人に 健康と福祉を  11 安全な都市及び 地域づくりを 実現すること 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)				単位:千円
	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 ・各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 ・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	・健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 ・各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 ・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	・健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 ・各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 ・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	
事業費	329,892千円	329,892千円	329,892千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に要する経費
	4-1-1	保健衛生総務費	健康診査に要する経費
	4-1-1	保健衛生総務費	人間ドック等費用助成事業
	4-1-4	健康づくり推進費	健康診査事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診推進事業
	【国民健康保険特別会計予算】		
	5-1-1	保健衛生普及費	保健衛生普及事務に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	データヘルス事業に要する経費

3. 事業実績等				単位:円
令和6年度の 事業実績・成果	特定健康診査については、6月から12月に集団健診と個別健診を実施した。特定健診を受けていない人への受診勧奨通知に一定の効果があつたと考えるが、受診率は令和5年度と同程度であつた。その他各種健(検)診を予定どおり実施することができた。 人間ドック及び脳ドックの受検者数については、人間ドックが前年度比66人の増、脳ドックが39人の減であつた。人間ドックの人数増は、助成制度を周知した効果があつた。 特定保健指導実施率は勧奨・再勧奨を行い少し上昇した。健康相談は、今年度より市ホームページでの日程案内を始めたが、相談数の伸びには繋がらなかった。電話による相談はほぼ横ばいであつたが、来所相談にはつながらなかった。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、ポピュレーションアプローチは22団体(R5は15)を対象に、ハイリスクアプローチは106人(R5は96人)に実施した。	当初予算	329,892,000円	
		予算現額	297,889,000円	
		決算額	287,820,538円	
		翌年度繰越額	-	

4. 指標及び実績値		指標内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各種健康診査・検(健)診の周知 広報・HP等の掲載	回	目標値		13	14	15	19	19
			実績値		16	19	28	28	
	がん検診精密検査未受診者への再勧奨(電話・訪問・来所・手紙等)	%	目標値		90	95	95	100	100
			実績値		100	100	100	100	
	特定保健指導実施率 (法定審査前暫定値)	%	目標値		28	29	30	20	23
			実績値		18.5	18.3	14.7	15.4	
	健康相談実施者数(糖尿病性腎症対策・健診事後相談)	人	目標値		100	105	360	390	395
			実績値		366	396	444	281	
成果指標	人間ドック等受検費用助成の広報・HP等による周知	回	目標値		15	15	15	17	17
			実績値		17	17	17	19	
	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7	
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3	82.3 84.8		
	特定健診の受診率 (法定審査前暫定値)	%	目標値		39.0	39.0	40.0	39.0	40.0
			実績値		37.1	36.3	37.4	37.3	
	がん検診精密検査受診率の増加	%	目標値		90	90	95	95	95
			実績値		88.2	87.5	89.1	87.2	
	印西市国民健康保険被保険者中、糖尿病を原疾患とする新規人工透析導入者数	人	目標値		25	25	23	23	23
			実績値		28	10	9	14	
	印西市国民健康保険被保険者一人当たりの医療費	千円	目標値		380	400	410	396	396
			実績値		372	379	399	399	

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	特定健康診査や人間ドック等助成について、多様なツールを取り入れ宣伝することで周知が図れた。特定保健指導の実施率は、勧奨を行い前年度よりも上がった。来所による健康相談は減少し目標値に届かなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	平均自立期間は男女共に横ばい、目標値を超えている。特定健康診査及びがん検診精密検査は、ほぼ目標値に近い成果があつた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であつた	特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進できた。 健(検)診、その後の相談・指導を通じて平均自立期間(健康寿命)の目標値の達成につなげることができた。

6. 今後の方向性	
今後の方向性や課題等	
特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進するため、引き続き周知等に努める。また、健(検)診結果をもとに、事後フォローとなる各種相談・指導事業により生活改善支援、医療受診勧奨を行い、市民の生活の質の維持・向上、自立期間の延伸を目指すしていく。	

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	15
実施計画事業名	健康づくり活動の促進		担当部署名	健康増進課 スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	高齢期をむかえても誰もが住みなれた地域で、生涯を通じて健康で安心して暮らすことができるように、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図る、健康づくりの施策の推進をします。 より良い生活習慣を身につけることは、丈夫な体をつくり、健康の維持・増進につながります。健康講演会や健康教育等の実施や健康情報を発信して、住民が自らの健康に関心を持ち、各年代に合わせた運動や睡眠・休養を含めた健康づくりを行えるよう支援し、禁煙・受動喫煙の防止など、健康増進に向けた取り組みを進めます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～ 自殺対策基本法 いのち支えあういんざい自殺対策 計画	
取組方針	健康づくり活動の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 健康と 福祉 3 気候変動に 適応する 11 健康と福祉 のまちづくり			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・第2次自殺対策推進計画の策定 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・第3次健康いんざい21の計画策定 ・アピアランスケア支援事業の実施	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・第2次自殺対策推進計画の策定 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施
事業費	64,832千円	52,106千円	52,106千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-4	健康づくり推進費	健康づくりセンター事業に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	ヘルスアップ教室事業に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康政策推進に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康支援事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん相談支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果		当初予算	64,832,000円
		予算現額	58,882,000円
		決算額	54,984,765円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	健康講演会・健康教育等の参加者数	人	目標値	150	170	960	970	980
			実績値	650	842	1066	1465	
	健康情報コーナー等による啓発	か所	目標値	12	12	12	14	14
			実績値	12	14	14	12	
	健康ポイント事業の参加者数	人	目標値	150	170	190	210	230
			実績値	49	76	55	43	
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	
健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)新規参加者実人数	人	目標値	80	90	100	110	120	
		実績値	62	74	55	61		
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3	82.3 84.8	
	1日30分以上の運動を週2回以上、1年間以上実施している人の割合(%)	%	目標値	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
			実績値	42	43	45	38	
	睡眠で休養が十分とれている人の増加	%	目標値	73	76	79	79	79
			実績値	75	76	75	65	
	たばこを習慣的に吸っている人数	%	目標値	11	9	7	7	7
			実績値	9	9	9	12	
ヘルスアップ教室参加者の入会時から3か月後の体力年齢改善率	%	目標値	80	80	80	80	85	
		実績値	77	88	67	85		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	健康相談の実施人数が前年度から比較して減少し、目標に届かなかった。ホームページでの周知を始めたが、他の手段も検討して事業を展開していきたい。健康ポイント事業の参加者数は減少、健康講演会や健康教育等の参加者数は増加した。健康情報コーナーは施設改修工事により2か所減った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ヘルスアップ教室の参加者の体力年齢改善率が上昇して、目標も達成できた。他の成果指標に関して、健康づくり活動につながる支援を実施していけるよう周知を工夫する。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	健康教育は目標達成しており、健康づくりの支援につながった。低い指標も見られるため、今後も健康づくりの啓発や相談しやすい体制づくりが必要。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、市民が自ら健康に関心を持ち、各年代に合わせた健康増進に向けた取り組みを続ける。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	16
1. 事業の概要				
実施計画事業名	歯科保健の推進		担当部署名	健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	歯の状態や口腔疾患は、全身の健康に影響します。歯みがきや歯科健診の定期的な受診を促し、家庭や学校、職場などでできる歯みがき習慣の定着化を目指します。また、歯の健康や歯周病予防は、子どもから高齢者まで、年齢に関係なく取り組みが求められます。そこで、歯を失う原因となるう蝕(むし歯)及び歯周病の予防について、口腔衛生に関する正しい知識の普及と歯科健診の受診を勧奨します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 歯科口腔保健法(歯科口腔保健の推進に関する法律) 印西市歯と口腔の健康づくり推進条例 第2次健康いんざい21(改訂版)～印西市健康増進・食育推進計画～	
取組方針	歯科保健の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 目標を せひに  3 すべての人に 健康と福祉を  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進
事業費	7,787千円	7,787千円	7,787千円

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	歯科保健啓発事業として市民公開講座を4回開催。二十歳を祝う会で歯科健診の受診勧奨を目的とした啓発物を900枚配布した。 依頼・出前教育では、子ども発達センターや子育て支援センター、児童館において歯科指導及び歯科健診を実施。成人においては、口腔の健康が全身の健康に影響するため、多職種と連携し健康教育活動に取り組み、前年度9回から15回に増加した。 乳幼児に対しては公立だけでなく私立の保育園や幼稚園、こども園においても歯科指導を行い歯磨きの習慣化に努めた。 学校歯科指導は市内小学校18校、中学校9校で実施し、口腔内環境に適した歯磨き方法を指導した。 その他、就学時健診時に保護者1385名に向けて、むし歯予防や仕上げ磨きの必要性について資料を配布した。 口腔疾患健診においては、30歳、40歳を対象にハガキによる受診勧奨を行った。 妊娠期から歯の衛生習慣を身につけるために妊婦歯科健診を実施、未受診者に対しては受診勧奨を行った。	当初予算	7,787,000円
		予算現額	6,205,000円
		決算額	5,626,138円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	歯科保健啓発事業の周知(広報・HP等の掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	4	4	
	依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の増加	回	目標値	68	69	70	78	79
			実績値	58	77	90	104	
	口腔疾患健診受診者数	人	目標値	254	263	280	280	—
			実績値	176	247	291	256	—
成果指標	歯科保健啓発事業	回	目標値	2	2	2	10	10
			実績値	1	1	4	5	
	乳幼児う蝕罹患率の減少	%	目標値	11.5	11.3	10.0	7.0	6.9
			実績値	8.4	5.5	5.1	5.5	
	小学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	39.3	39.2	39.1	25.0	24.9
			実績値	33.1	25.2	23.6	21.9	
	中学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	34.4	34.3	34.2	22.3	22.2
			実績値	21.9	22.5	22.4	28.6	
	小学生の歯肉炎罹患者の減少	%	目標値	13.1	11.0	10.0	9.0	8.9
			実績値	10.9	7.0	7.1	7.7	
	中学生の歯肉炎罹患者の減少	%	目標値	31.3	28.2	25.0	19.4	19.3
			実績値	23.0	19.6	21.2	24.3	
	口腔疾患健診受診率	%	目標値	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
			実績値	1.4	1.9	2.2	2.0	

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	口腔疾患検診健診の受診者は伸び悩んだものの、健康教育や歯科衛生指導は増加した。小中学校での歯科指導では歯垢染色を含めた実技指導を実施できる学校が増加した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	おおむね目標を達成。小中学校の歯科指導は年齢に応じた内容で指導し歯ブラシ習慣に繋がった。歯肉炎に関しては引き続き効果的な指導を検討して実施する。口腔疾患健診は、受診率が伸び悩んだ。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	小中学校での歯科指導では、歯垢染色を実施する学校が新型コロナウイルス感染症流行以前に近づいてきた。歯科指導の根幹は実技の部分であるため、児童生徒に対し効果的な指導が可能となった。今後もより良い指導のため、さらなるブラッシュアップを重ねていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
学校歯科指導では、養護教諭等と協議し、歯垢染色を含めた実技指導を実施することができた。今後は保育園等の歯科指導でも、実技指導ができるよう働きかけていく。健診事業においては受診率の向上を図るため、効果的な受診勧奨について検討していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	17
1. 事業の概要				
実施計画事業名	食育の推進		担当部署名	健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	健康的な食習慣の大切さを伝え、生活習慣病の予防や健康な身体の発育を促すような生涯にわたる健全な食生活の実践を支援します。 地場産品を活用したレシピなど農業との連携や、給食などを通じた食育など保育・教育との連携を進め、食育推進の実施体制を整備、強化していきます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	食育基本法 食育推進基本計画(国) 食育推進計画(県) 第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～	
取組方針	食育の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 飢餓をゼロに  3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携
事業費	1,294千円	1,294千円	1,294千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-4	健康づくり推進費	食育推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	【健康増進課】 食育関係者研修会は「地域とつながる食育」をテーマとし、市内で活動している講師を2名招いた。市内子育て機関の結びつきを強めることができた。 野菜の皿数については、野菜摂取への意識向上を目的にポスターを作成し、食育月間中に市内協力店舗19店舗で掲示を行った。 市の野菜を使ったレシピを周知するため、野菜摂取啓発資料を作成し、出前授業など健康教育の際に配布した。Xのレシピポスト閲覧は減少したが、ホームページの閲覧は1483回から2591回に増加した。 【子ども家庭課】 幼児健診では年齢に応じた食生活のポイントについての資料を配布した。また、令和6年度より児童館・子育て支援センター4館での栄養相談を実施し、乳幼児の食生活の悩みに対応した。 食育事業、教育事業としては、夏休み期間中に親子食育教室として計3回小学校低学年の児童とその保護者を対象とし、野菜摂取についての講話と野菜をたくさん使った料理をテーマに料理教室を行った。小学校家庭教育学級等への周知により出前講座の依頼が増え、実施回数・参加者数の増加につながった。	当初予算	1,294,000円
		予算現額	1,294,000円
		決算額	838,674円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座・教育の実施回数	回	目標値	20	25	25	45	46
			実績値	43	39	46	45	
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピ配信回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	
成果指標	栄養士調整会開催回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	1	2	
	食育関係者研修会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	-	-	1	1	
	健康相談の内容を理解し、生活改善目標がたてられている人の割合	%	目標値	95	95	97	100	100
			実績値	100	100	90	78	
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピポスト(旧ツイート)をみた人数(平均)	人	目標値	2,000	2,200	2,300	2,400	2,500
			実績値	2,569	1,557	1,600	1,222	
	1日に5皿以上の野菜料理を食べている人の割合	%	目標値	10	15	20	20	20
			実績値	6	7	9	8	
	食育関係者研修会参加者の市食育推進計画への理解が深まった人の割合	%	目標値	80	85	90	95	95
			実績値	-	-	100	97	
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	横ばいであるが、家庭教育学級や高齢者団体での健康教育を通し、食事の大切さや食に関する災害時の備えなどを伝えることができた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	1日5皿以上の野菜を食べている人の割合が横ばいであった。市で公開している野菜を使ったレシピを周知するため、野菜啓発資料作りを行い、出前授業等で配布したが、なお一層の啓発に取り組みたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	1日5皿以上の野菜を食べている人の割合が依然として低く、課題解決を模索しているため。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
親子食育教室はコロナ渦が明けて久しぶりの開催であったが、好評だった。幼児期・学童期から出来るだけ多くの人に食事や料理に興味を持ってもらえるような事業展開について検討していく必要がある。 野菜の摂取量が少ない人が多い状況が続いており、望ましい量を知らない人もまだ多い状況であるため、日常生活のなかで情報を得られやすくなるような食環境整備を進め、多くの機会を通じて周知に努めていく。また、より推進体制を強化できるよう、食育関係者研修会において意見交換の時間も充実させたい。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	18
1. 事業の概要				
実施計画事業名	医療体制の充実		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	市民が医師との信頼関係をもとに日常的な医療や健康の相談ができる「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」を持つことの重要性を周知するとともに、誰もがいざというときに必要な診察が受けられるように医療体制の整備・充実を図ります。特に休日・夜間などの急患に対応するための救急医療体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-7】医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～	
取組方針	医療体制の充実及び在宅医療と介護の連携推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すぐれた健康と 長寿を促す 11 安全で 住み続けられる まちづくりを			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援
事業費	30,000千円	90,000千円	90,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	地域医療推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	例年どおり、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ等の感染者の増加に備え、急病時の相談先等の周知を多く実施した。 救急医療機関への財政支援(2次救急及び小児2次救急)を行うとともに、財政支援額増額の検討を行った。 市内医療機関数は微増となった。	当初予算	30,000,000円
		予算現額	45,000,000円
		決算額	45,000,000円
		翌年度 繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	かかりつけ医等を持つことの重要性の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	13	14	15	16	
	休日・夜間などの急病時の相談 先等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	14	15	16	17
			実績値	13	14	15	16	
	救急医療機関への財政支援	件	目標値	1	1	2	3	3
			実績値	0	0	1	3	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	医療機関数	機関	目標値	90	92	95	97	100
			実績値	91	90	92	94	
	市内医療機関への救急搬送率	%	目標値	44	45	46	47	48
			実績値	38	40	43	48	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	急病時の相談先等の周知を行うとともに、救急医療機関への財政支援を日本医科大学千葉北総病院及び印西総合病院へ行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	医療機関数は2医療機関の増、救急搬送率は5ポイントの増となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き、かかりつけ医の重要性を周知していくとともに、救急医療体制への財政支援を行い、市内への救急搬送率を高め、医療体制の充実を図っていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、かかりつけ医の重要性を周知していくとともに、医療体制の充実を図っていく。 市内医療機関への救急搬送率を高めるため、財政支援を継続して図っていく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	19
実施計画事業名	健康危機管理対策の推進		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	感染症の流行を防ぐため、感染症予防対策についての意識の向上を図るとともに、予防接種の知識の普及や接種機会の安定的な確保を図ります。また、救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置を推進するとともに市民への周知を図ります。			
関連施策	【1-7】 医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～ 予防接種法	
取組方針	健康危機管理対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を 11 安全で持続可能な都市づくり			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業(新たに帯状疱疹ワクチン接種・おたふくかぜ予防接種・小児インフルエンザ予防接種助成を開始) ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施
事業費	703,419千円	698,538千円	698,538千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	健康危機管理事業
	4-1-2	予防費	予防接種事業
	4-1-2	予防費	新型コロナウイルスワクチン接種事業
	4-1-2	予防費	感染症予防に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康政策推進に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	市民へ感染症の状況に応じて、広報やホームページ、公式LINE等で注意喚起および感染症拡大防止、予防対策についての周知・啓発を行うとともに、定期予防接種や予防接種費用助成事業等を実施し、安定的な接種機会の確保に努めた。 救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置継続及び新規設置を行い、市民への周知を図った。 (コンビニ 35台、公共施設 34台)	当初予算	703,419,000円
		予算現額	883,801,000円
		決算額	717,079,459円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	感染症予防対策の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	26	26	36	52	
	AED(自動体外式除細動器)設置 状況等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	4	4	5	6
			実績値	2	2	4	5	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	24時間営業のコンビニエンス ストアへのAED(自動体外式除細 動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
	市内公共施設等へのAED(自 動体外式除細動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	各種感染症予防のため、広報・ホームページ、行政情報掲載、公式LINE等で予防対策等の周知を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	24時間営業のコンビニエンスストア及び市内公共施設等すべてにAEDを設置している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	感染症予防についての啓発を図り、意識を高めることができたとおもに、コンビニ設置AED及び市内公共施設等すべてに三角巾等を設置し、さらなる健康危機への対策を図ることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民の安全安心な生活を守るために引き続き取り組んでいく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	20
1. 事業の概要				
実施計画事業名	スポーツ参加機会の拡充		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	スポーツ人口の拡大を目的に、市民スポーツ大会及び教室を関係団体と連携し継続的に開催するとともに市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する関心を図ることのできるイベントの開催やトップアスリートによるイベントの開催誘致に努めます。 また、市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として学校体育施設の利用促進に努めるとともに快適に活動ができるよう、継続的にスポーツ施設の維持管理・改善検討を行います。			
関連施策	【1-8】スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、第2期印西市子ども・子育て支援事業計画、第2次健康いんざい21（改訂版）～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	スポーツ参加機会の拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ・パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ・パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ・パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営
事業費	106,119千円	126,119千円	106,119千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-6-2	体育振興費	学校体育施設開放事業
	9-6-2	体育振興費	社会体育施設維持管理に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ推進委員に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ振興に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	スポーツ教室については、ニュースポーツ教室9回(271名参加)、ら・ら・らスポーツ祭1回(32名参加)、クライミング教室12回及び認定会2回(239名参加)、リフレッシュ教室90回(1,784名参加)、印西アスリート教室2回(182名参加)、パラスポーツ体験会17回(1,402名参加)、陸上クリニック1回(76名参加)の教室を開催した。市民ぐるみのスポーツイベントであるスポーツ健康フェス(1,500名参加)を開催した。学校体育施設の利用については、市内小中学校27校及び旧小学校2校において、学校体育施設の開放を実施した。また、市内民間プール等を活用し、小中学生に利用券の配布事業を実施した。 スポーツ施設の維持管理及びパークゴルフ場、フットサルパークの運営については、市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう日々の整備、修繕に努め、施設環境を整えた。	当初予算	106,119,000円
		予算現額	99,503,000円
		決算額	86,288,370円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ教室開催数	回	目標値	143	150	150	150	150
			実績値	97	133	140	142	
	学校体育施設利用団体数	団体	目標値	210	215	220	220	220
			実績値	185	185	192	189	
			目標値					
			実績値					
成果指標	スポーツ教室参加者数	人	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000
			実績値	1,867	4,354	4,968	6,092	
	学校体育施設利用者数	人	目標値	5,900	6,000	6,100	6,100	6,100
			実績値	4,455	4,797	4,792	4,754	
	スポーツ施設利用者数	人	目標値	370,000	380,000	500,000	510,000	520,000
			実績値	496,843	500,477	505,381	366,998	
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	松山下公園野球場、体育館アリーナ工事、本埜公民館工事に伴う、公園内スポーツ施設利用制限等により、施設利用に制限があったことから利用者数が減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
スポーツへの参加機会の拡充を図るため、引き続き、市民が気軽にスポーツに親しめるようスポーツ教室などを開催していく。

令和6年度分 実施計画事業評価票

事業番号	21
------	----

1. 事業の概要

実施計画事業名	スポーツ団体や指導者への支援		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	市民がスポーツを行う際に適切な指導を受けることができる環境を整えるために、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、その他スポーツ団体の活動を支援し、競技力の向上及び指導体制の強化を図ります。 また、あらゆる世代がスポーツに参加し、指導を受けることができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、既存クラブの育成を行います。			
関連施策	【1-8】スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、第2期印西市子ども・子育て支援事業計画、第2次健康いんざい21(改訂版)～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	スポーツ団体や指導者への支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第4次実施計画)

単位:千円

	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成
事業費	31,031千円	31,031千円	31,031千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-6-2	体育振興費	スポーツ推進委員に要する経費
	9-6-2	体育振興費	印旛郡市スポーツ大会に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ振興に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和6年度の 事業実績・成果	市スポーツ協会、スポーツ少年団などの活動の支援を行った。(補助金交付等) 印旛郡市スポーツ大会17種目及び印旛駅伝に際し、選手の派遣を行った。(313名) 全国大会出場奨励金を交付した(44名) 運動教室等にスポーツ推進委員を講師として派遣を行った。(5回) スポーツ医学セミナーを開催した。(1回・27名参加) 総合型地域スポーツクラブへの支援を行った。(活動場所の確保等) 市民スポーツ大会の支援を行った。(35回・4,361名参加)	当初予算	31,031,000円
		予算現額	24,664,000円
		決算額	22,728,866円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ団体数 (スポーツ協会・少年団)	団体	目標値	39	40	40	40	40
			実績値	38	37	37	40	
	郡市民スポーツ大会・印旛駅伝参加数	種目	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	-	16	17	17	
	総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
	スポーツ医学セミナー開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
	市民大会開催数	回	目標値	34	34	34	34	34
			実績値	16	26	30	35	
成果指標	スポーツ団体会員数 (スポーツ協会・少年団)	人	目標値	3,500	3,520	3,540	3,560	3,580
			実績値	3,395	3,142	2,936	2,997	
	スポーツ指導者数	人	目標値	145	147	149	151	153
			実績値	141	155	156	152	
	総合型地域スポーツクラブ会員数	人	目標値	99	100	105	110	115
			実績値	69	82	78	91	
	スポーツ医学セミナー参加人数	人	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	47	23	22	27	
	市民大会参加者数	人	目標値	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600
			実績値	2,097	3,664	3,831	4,361	

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市スポーツ協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体の活動を今後も継続して支援し、選手の競技力向上や指導体制の強化を図るとともに、スポーツ団体の活動を周知し、団体や会員を増やしていく。また、各種団体と連携し、市民大会等の参加者を増やしていく。